

令和8年3月16日
有識者懇談会資料
環境総合研究所都市環境担当

市内における熱中症発生状況及び 暑熱環境等に関する調査研究について



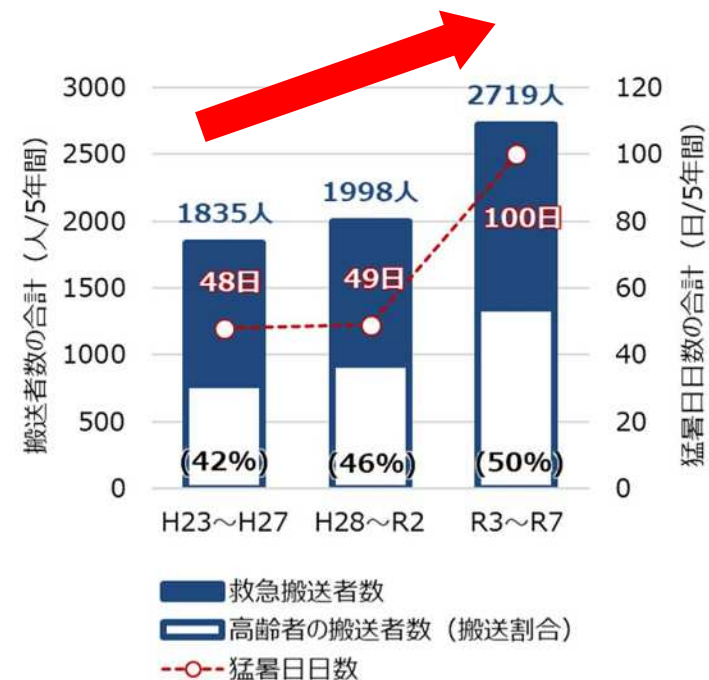
重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



■ 行政課題

- 近年、気候変動に伴う夏の高温化により、**熱中症搬送者数が増加傾向**
- 熱中症搬送者数を減らすことが急務
- 特に、搬送者数の半数を占める**高齢者への対策が重要**
- これまでの解析から、**熱中症搬送状況は地域によって異なる**ことが分かっている



■ 調査・研究の目的

熱中症予防の生活様式、気象状況及び社会福祉に関する項目等の地域特性が、熱中症救急搬送状況に影響を与える可能性を調べる

➡地域における熱中症予防啓発を、地域の実情に合わせ、より効果的なものにする

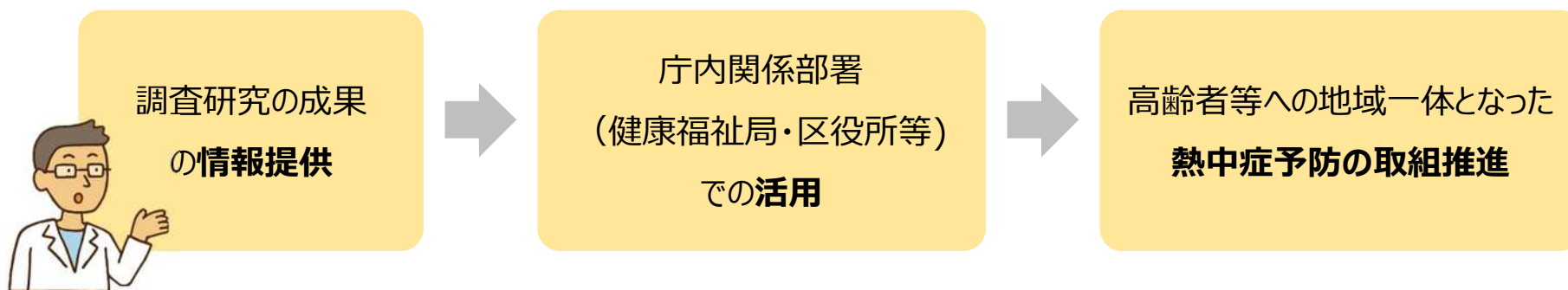
重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



■ 調査・研究成果の活用

- 本調査研究は、庁内で取組まれている**熱中症予防対策**をより効果的なものにするために、**エビデンスの面から強化**するもの
- 調査研究の成果については、熱中症対策を実施する健康福祉局、区役所（地域みまもり支援センター）等の**庁内関係部署に情報提供**する
- 成果を活用いただくことで、**高齢者等への地域一体となった熱中症予防の取組を推進**する



重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



■ 令和7年度 調査内容

調査研究1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

[概要]

地域の特徴と熱中症搬送状況の関係性より、地域における熱中症発生要因について調査を行った。

調査研究2 市内における暑熱環境等に関する調査研究

[概要]

市内の暑熱状況と熱中症発生状況の関係性を整理した。

重点-1

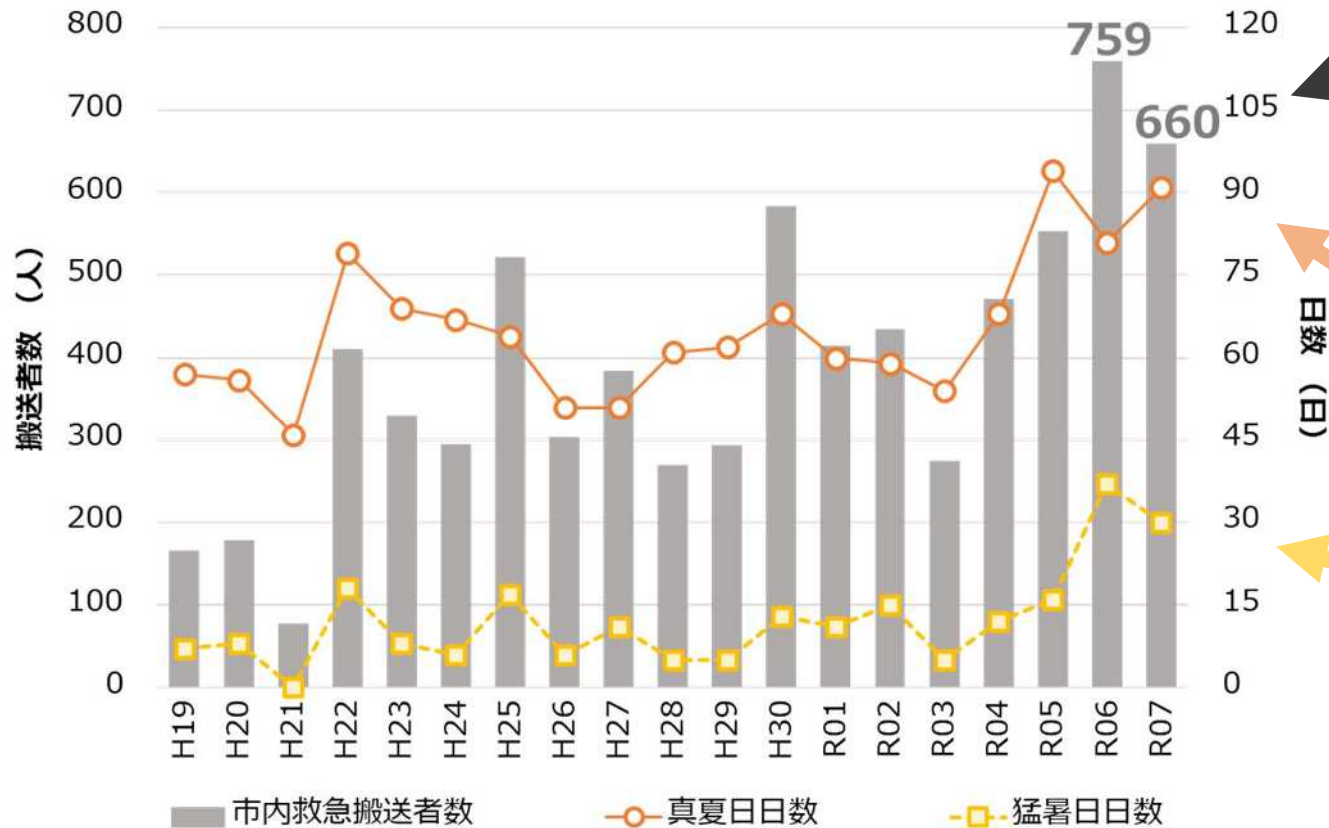
市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



令和7年度 調査背景

調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

令和7年度 熱中症搬送状況



搬送者数：
R6に次いで、
過去2番目に多い

真夏日日数：
R5に次いで、
過去2番目に多い

猛暑日日数：
R6に次いで、
過去2番目に多い

熱中症救急搬送者数の経年推移

重点-1

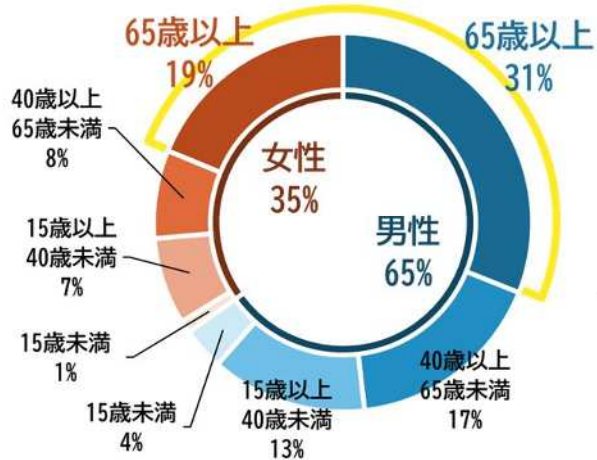
市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



令和7年度 調査背景

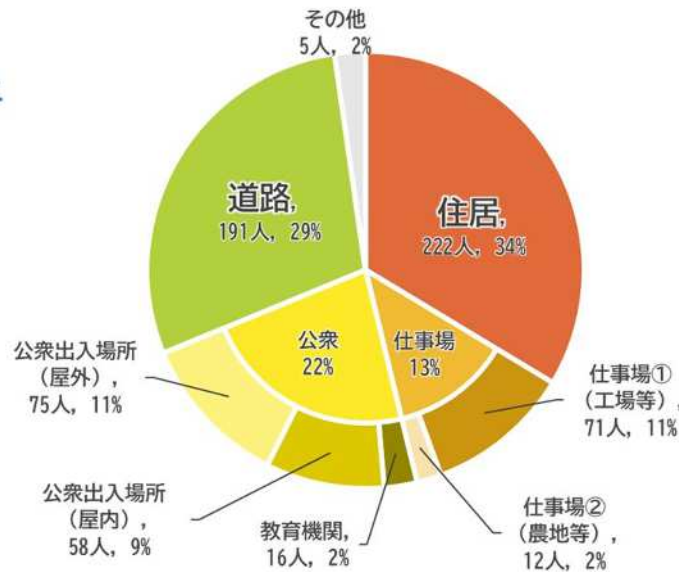
調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

令和7年度 熱中症搬送状況



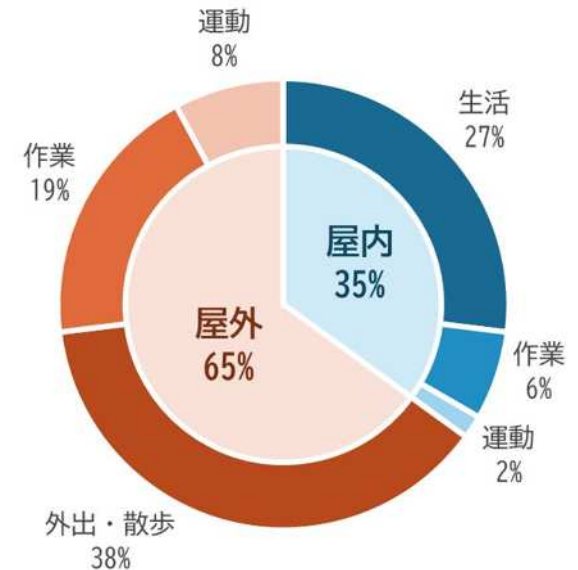
性別・年齢階級別

高齢者が半数
全年齢階級で男性の方が多い



搬送場所

住居、道路の順が多い

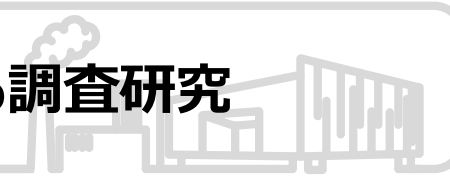


搬送理由

熱中症の理由は、
外出・散歩が最も多い

重点-1

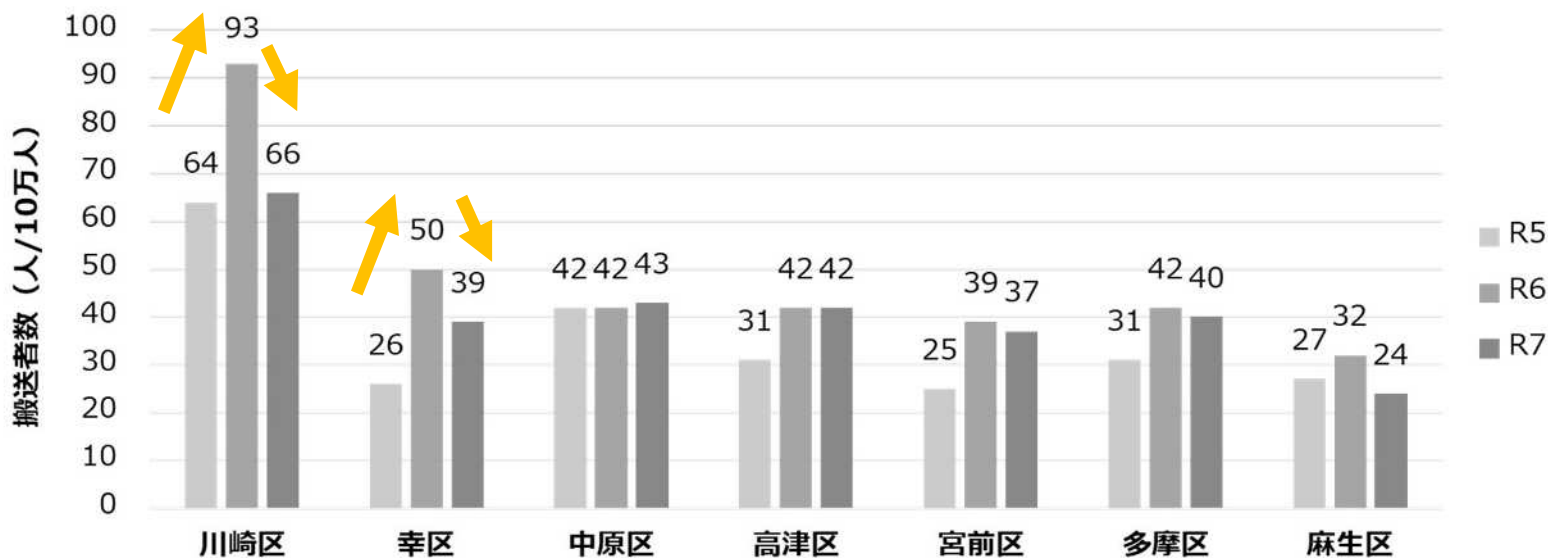
市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



令和7年度 調査背景

調査研究1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

令和7年度 熱中症搬送状況



区別の熱中症救急搬送者数 (R5~R7)

川崎区・幸区において、令和6年に大幅増加。令和7年は減少。

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

■ 令和7年度 調査方法

step1

地域の特徴が分かる**データ収集**

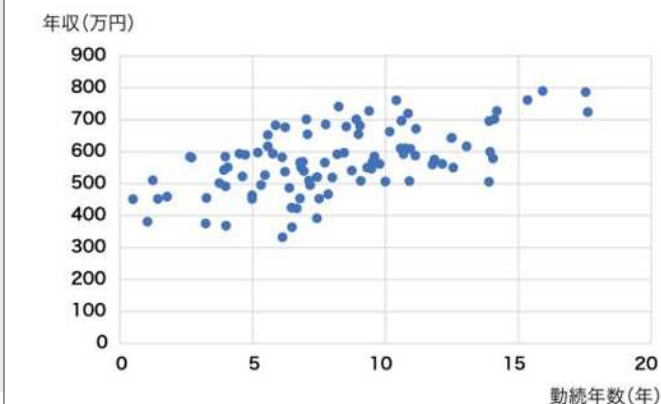
区役所との連携

step2

熱中症救急搬送データと各地域の特徴データの相関分析を行う

相関係数：関係性の強さを数値化

片方の数値が変化するとき、
もう片方の値も同様に変化する
⇒ **正の相関がある**



出典：Data StaRt
(<https://www.stat.go.jp/dstart/>)

step3

相関の見られた項目について、因果関係の確認

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

令和7年度 調査結果

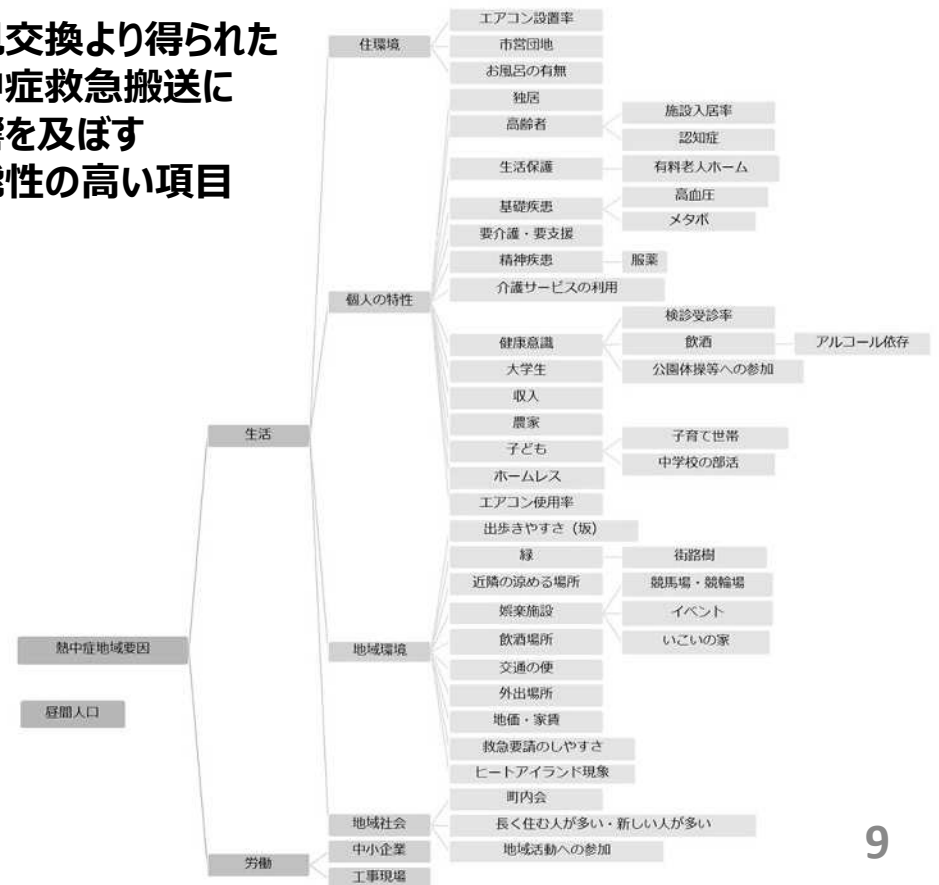
(1) 熱中症搬送要因となり得る地域の特徴抽出

地域とのかかわりの深い区役所職員との意見交換により、各区の熱中症搬送状況に影響を及ぼす可能性の高い項目を抽出した。地域住民及びその街の特徴が挙げられた。

区役所との意見交換実施概要

	実施日	協力部署
川崎区	7/9	地域ケア推進課、 地域支援課、保護課
幸区	7/10	高齢・障害課、 保護課、地域支援課
中原区	7/2	高齢・障害課、 保護課、地域支援課
高津区	7/1	総務課、地域支援課 みまもり支援センター、
宮前区	7/7	高齢・障害課、 地域ケア推進課、地域支援課
多摩区	7/18	高齢・障害課、 地域ケア推進課、地域支援課
麻生区	7/17	地域ケア推進課、地域支援課

意見交換より得られた 熱中症救急搬送に 影響を及ぼす 可能性の高い項目



重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

■ 令和7年度 調査結果

(3) 区別の熱中症救急搬送者数と地域データの関係

収集した地域の特徴を示す統計データと区別の熱中症救急搬送者数（令和5～7年合計）との相関を調べた。

使用したデータの一例

	熱中症救急搬送者数 (人/3年間)	昼間人口 (人)	65歳以上 単身高齢者数 (人)	家賃10,000円 未満が占める割合 (%)
川崎区	518	270642	13385	4
幸区	201	163160	8406	2
中原区	339	219767	9266	2
高津区	271	192337	9222	3
宮前区	238	174215	9388	2
多摩区	256	175337	8822	1
麻生区	150	146939	7586	2

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

令和7年度 調査結果

(3) 区別の熱中症救急搬送者数と地域データの関係

※比較対象数（n数）が少ないため、統計的に確証が得られるデータではなく、関係性の傾向を示す。

65歳以上の熱中症救急搬送者数と相関がみられた項目の一部を示す。

65歳以上の熱中症救急搬送者数
との相関係数

65歳以上の
熱中症リスクを
低下させる
可能性がある項目

市民一人あたり公園面積 (m ²)	-0.582
健康状態 非常に健康の割合	-0.578
住民組織加入率(%)	-0.458
老人福祉センター利用状況	-0.409

65歳以上の
熱中症リスクを
上昇させる
可能性がある項目

国民健康保険特定検診 内臓脂肪症候群該当者数	0.725
新入院患者延数 総数	0.814
老人クラブ数	0.886
家賃10,000円未満が占める割合	0.888
要介護4以上	0.895
住宅扶助世帯数	0.921
被保護_単身者世帯_高齢者	0.930
昼間人口	0.967
65歳以上単身高齢者数	0.984
救急出場件数 総数	0.988

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究 1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

令和7年度 調査結果

(3) 区別の熱中症救急搬送者数と地域データの関係

熱中症救急搬送者数との相関係数	
昼間人口	0.992
救急出場件数 総数	0.980
65歳以上単身高齢者数	0.958

屋内での熱中症救急搬送者数との相関係数	
65歳以上単身高齢者数	0.987

屋外での熱中症救急搬送者数との相関係数	
昼間人口	0.965

住居からの熱中症救急搬送者数との相関係数	
傷病者居住地別 搬送人員数	0.980
65歳以上単身高齢者数	0.962
教育扶助世帯数	0.937

道路からの熱中症救急搬送者数との相関係数	
昼間人口	0.942
救急出場件数 交通事故	0.940
高齢者（ 単身世帯 ）外出人口	0.878

単身高齢者は様々な場面で熱中症リスクが高い可能性がある項目として挙げられる。

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究

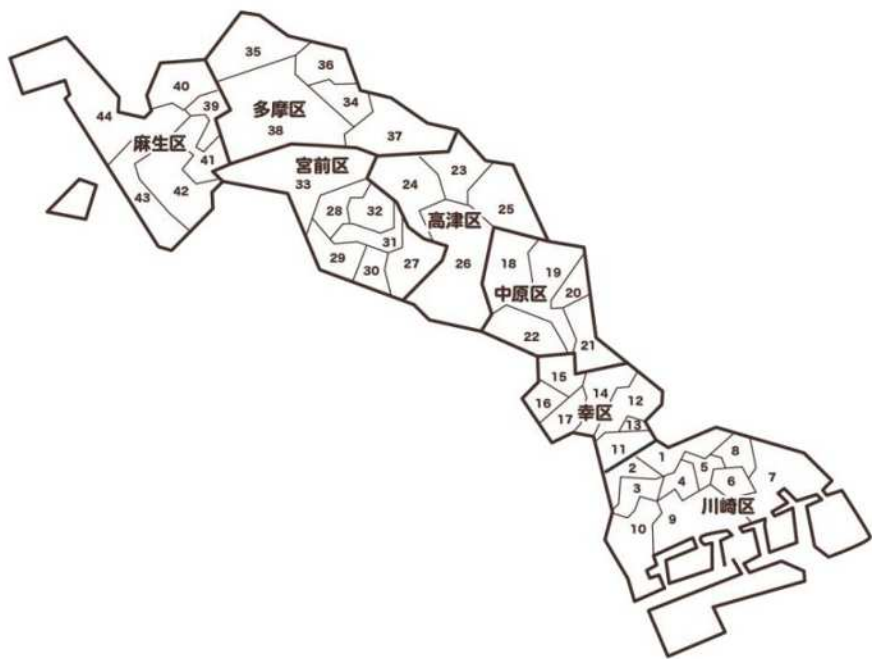


令和7年度 調査結果

調査研究1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

(4) 地域ケア圏域別の熱中症救急搬送者数と地域データの関係

区役所との意見交換の中で、行政区内でも特色が異なるとの意見を踏まえ、地域ケア圏域別で解析を行った。



出典：第7期麻生区地域福祉計画

番号	区名	地域ケア圏域名	番号	区名	地域ケア圏域名
1	川崎区	中央第一地区	23	高津区	高津第一地区
2		中央第二地区	24		高津第二地区
3		渡田地区	25		高津第三地区
4		大島地区	26		橘地区
5		大師第一地区	27	宮前区	宮前第一地区
6		大師第二地区	28		宮前第二地区
7		大師第三地区	29		有馬・鷺沼地区
8		大師第四地区	30		東有馬地区
9		田島地区	31		宮前第三地区
10		小田地区	32		宮前中央地区
11	幸区	南河原地区	33		向丘地区
12		御幸東地区	34	登戸地区	
13		河原町地区	35	菅地区	
14		御幸西地区	36	多摩区	中野島地区
15		日吉第一地区	37		稲田地区
16		日吉第二地区	38		生田地区
17		日吉第三地区	39	麻生区	麻生東第一地区
18	中原区	大戸地区	40		麻生東第二地区
19		小杉地区	41		麻生東第三地区
20		丸子地区	42		柿生第一地区
21		玉川地区	43		柿生第二地区
22		住吉地区	44		柿生第三地区

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究

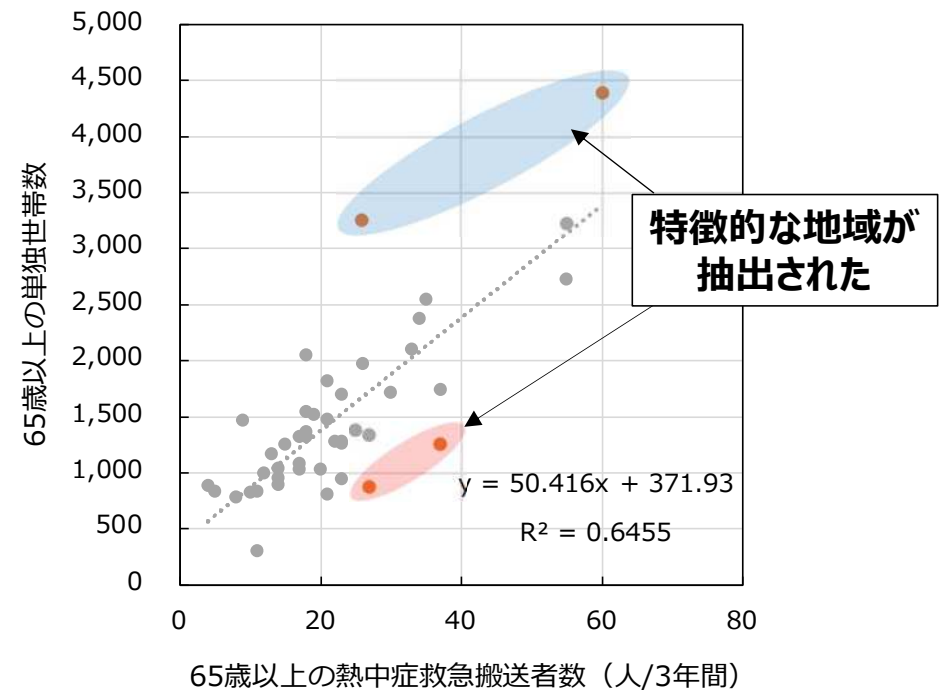
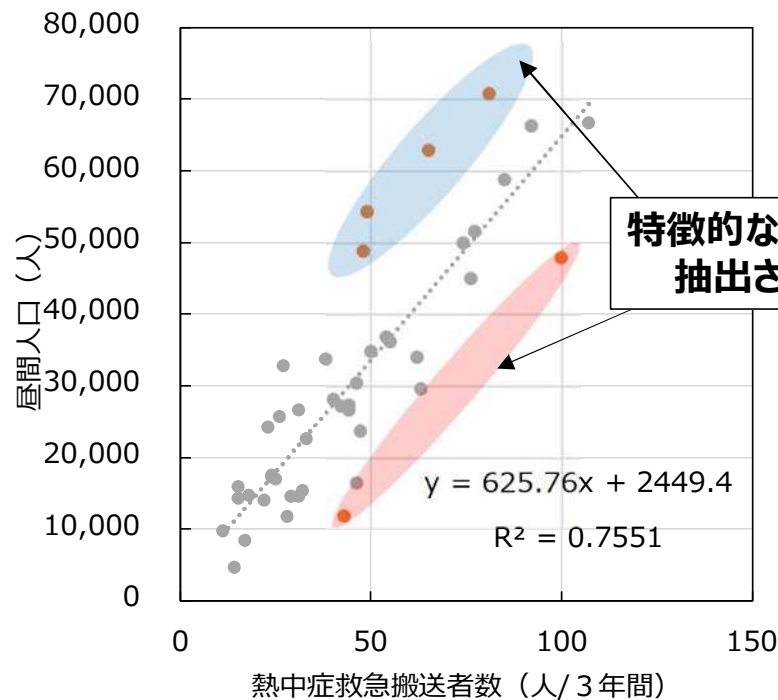


令和7年度 調査結果

調査研究1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

(4) 地域ケア圏域別の熱中症救急搬送者数と地域データの関係

地域ケア圏域別の熱中症救急搬送者数と地域データの相関を示す。



今後の展望

地域ケア圏域別の地域データについて、さらなるデータ収集により解析を行うことで、より詳細な地域における熱中症救急搬送者数に影響を及ぼす可能性がある項目が抽出され、熱中症予防啓発に活用することが期待される。

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



■ 令和7年度 調査内容

調査研究1 市内における熱中症発生状況等に関する調査研究

[概要]

地域の特徴と熱中症搬送状況の関係性より、地域における熱中症発生要因について調査を行った。

調査研究2 市内における暑熱環境等に関する調査研究

[概要]

市内の暑熱状況と熱中症発生状況の関係性を整理した。

重点-1

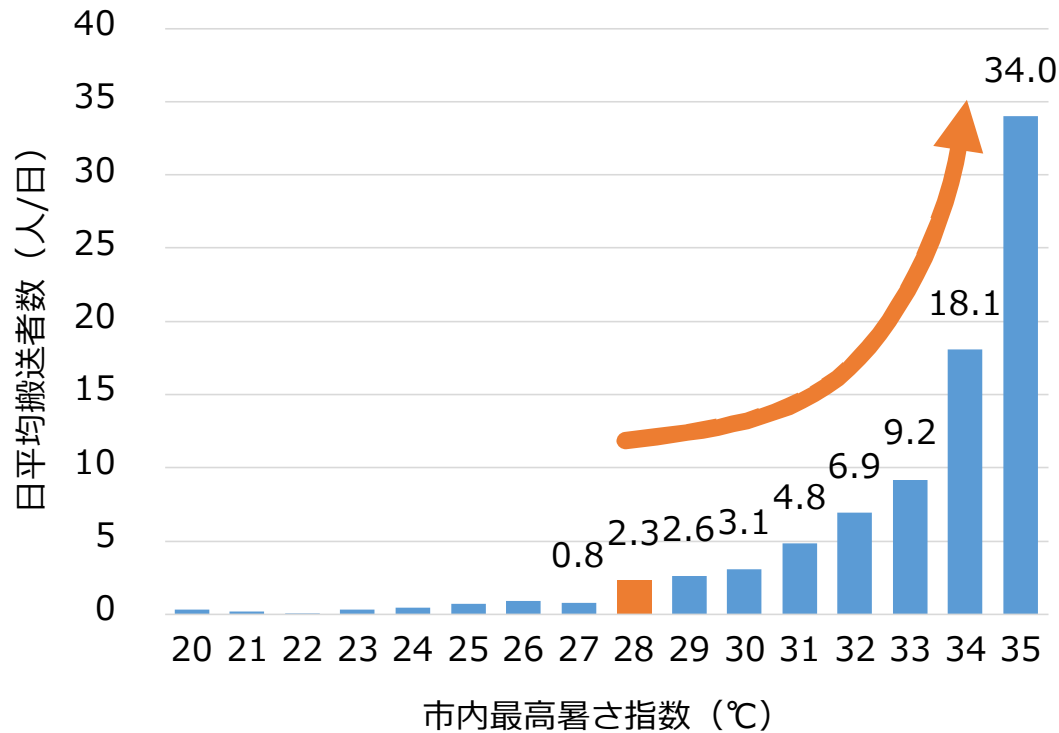
市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究2 市内における暑熱環境等に関する調査研究

令和7年度 調査結果

(1) 熱中症搬送者数と暑熱状況



日常生活における熱中症予防指針

WBGTによる温度基準域	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 31°C以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 28°C以上 31°C未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 25°C以上 28°C未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 25°C未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

出典：日本気象学会
「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」 (2022)

市内日最高暑さ指数と日平均搬送者数の関係 (令和6, 7年)

(暑さ指数は大気環境常時監視システムのデータを使用して算出した。)

暑さ指数28以上で熱中症搬送者数が増加

重点-1

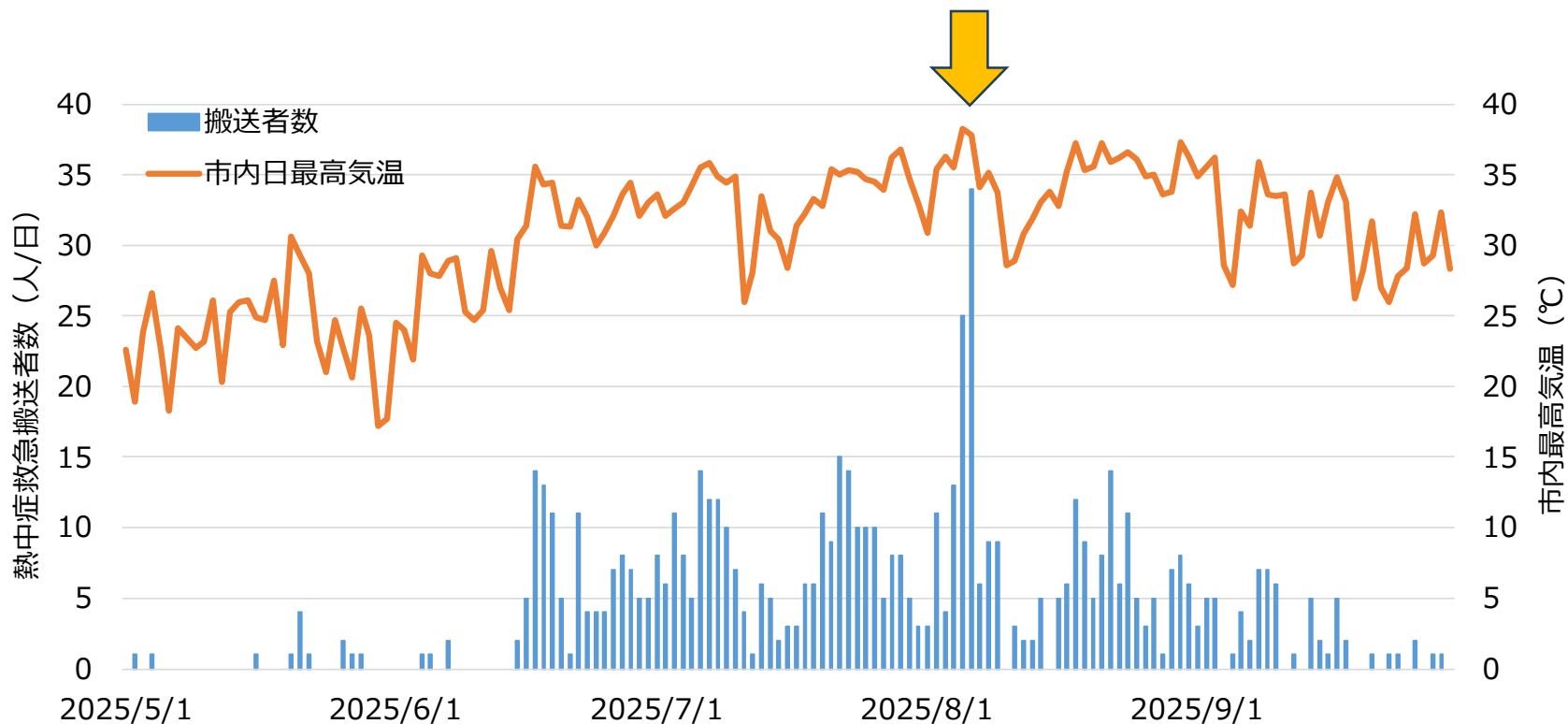
市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究2 市内における暑熱環境等に関する調査研究

令和7年度 調査結果

(1) 熱中症搬送者数と暑熱状況



令和7年8月6日に熱中症搬送者数が急増

重点-1

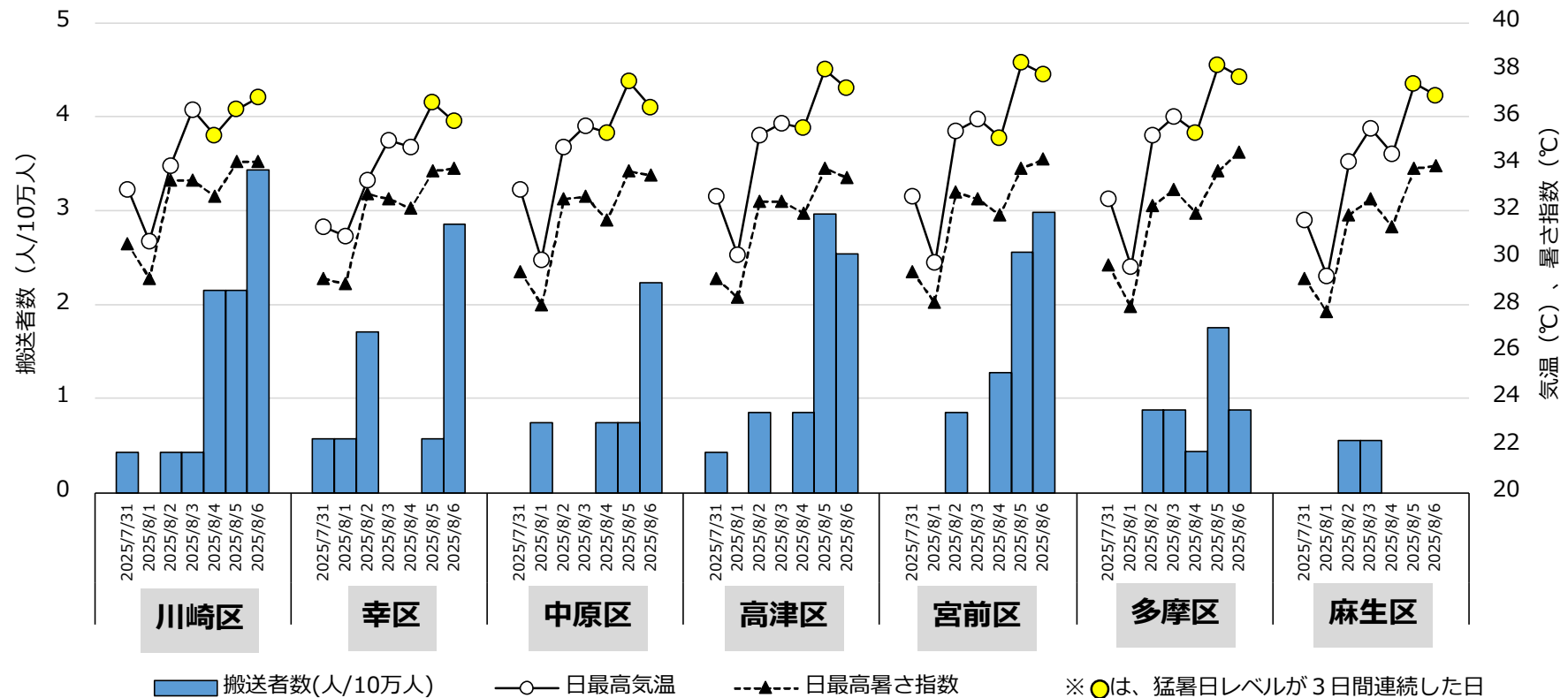
市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



調査研究 2 市内における暑熱環境等に関する調査研究

令和7年度 調査結果

(2) 1週間の市内熱中症搬送状況



各区の熱中症搬送状況、日最高気温及び日最高暑さ指数（令和7年7月31日～8月6日）

【今回の結果】

暑さ指数等と熱中症搬送者数の間で明確な傾向は見えず、地域の別の要因の影響を受けている可能性がある



【R8年度】

搬送場所や搬送理由など条件を絞った解析で傾向が見えないか検討する

重点-1

市内における熱中症発生状況と暑熱環境に関する調査研究



■ 令和8年度以降の方向性

令和7年度に実施した調査をより詳細な地域区分等について実施し、地域特性が、熱中症救急搬送状況に影響を与える可能性を調べることで、地域における熱中症予防啓発をより効果的なものとする。

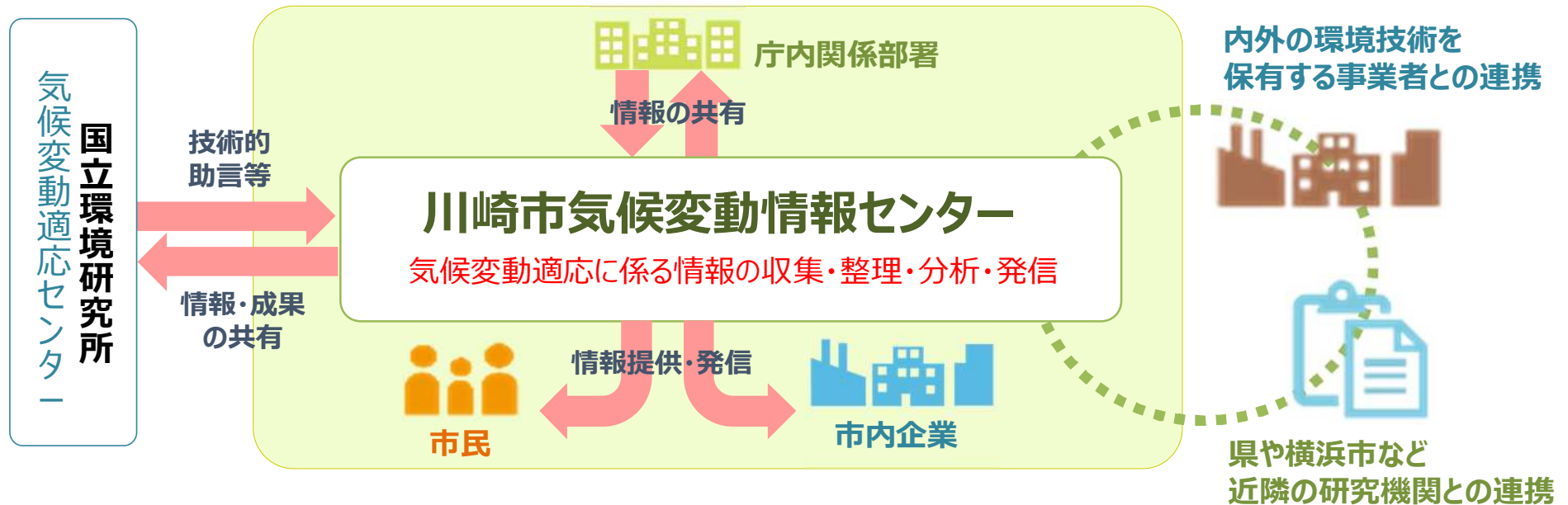
	令和8年度	令和9年度	令和10年度
市内における熱中症発生状況等に関する調査研究	高齢者等の熱中症救急搬送状況に関する地域特性の解析	R8実施を踏まえて更に必要な調査を実施	熱中症発生状況の解析及び近年の熱中症対策効果の検証（当研究所が熱中症対策を始めたR3～R9データ）
市内における暑熱環境等に関する調査研究	市内の暑熱環境に関する地域特性の解析	R8実施を踏まえて更に必要な調査を実施	



川崎市気候変動情報センターについて



■ 川崎市気候変動情報センターの概要



平成30年に制定された気候変動適応法に基づき、地域における適応に関する**情報収集・提供等を行う拠点**として、**令和2年4月に川崎市環境総合研究所内に「川崎市気候変動情報センター」を設置**

■ 行動変容を促す効果的な情報発信手法の開発 液晶温度計付き熱中症予防チラシの作成・配布と動画発信

- ・R7環境省モデル事業として採択され、R6の液晶温度計付きチラシをリニューアルし、「適応アクション」の要素を入れた効果的な啓発物(チラシ)作成
- ・区役所、民生委員及び地域包括支援センターと連携し、高齢者をはじめとする市民へ手渡しで声掛けしながら配布、YouTubeで動画配信



液晶温度計付き熱中症予防チラシ

8000部を配布



研究所YouTubeでの啓発動画配信

3 その他の気候変動適応に関する取組

令和7年実施内容

■ 行動変容を促す効果的な情報発信手法の開発 暑さへの備えを考えるリーフレットの作成とワークショップでの活用

- ・R7環境省モデル事業として採択され、気候変動の影響、暑さ情報の基礎知識や入手方法、熱中症予防行動をデータやイラストで、わかりやすく親しみやすく解説

リーフレット『暑さに負けない 生活の心得』

- ・行動タイムラインの作成を通じ、日頃からの備え・行動変容を促す



親子向けワークショップで、講義を聞いたのち
親子でタイムラインを作成

■ 行動変容を促す効果的な情報発信手法の開発 庁内連携（知見の活用）

● 広告媒体の活用した普及啓発
読売新聞広告掲載 6/8

● イベント等による普及啓発
親子向けイベント「キッズスポーツフェスタ」 6/8
市総合防災訓練 8/31

● 展示による普及啓発
アゼリア広報コーナー 6/20-7/4
消防庁舎（夏季の期間）



新聞広告



川崎市総合防災訓練でのうちわ配布



イベントで啓発チラシを声かけして配布



アゼリア広報コーナー

■ 気候変動適応に係る庁内外連携

● 気候変動適応法改正に伴う熱中症対策検討WGの運営

令和5年度にWGを立ち上げ、事務局として関係部局と連携して
庁内の熱中症対策について検討

● 一時的に暑さをしのぐ場所「かわさきちよこ涼」の展開

実施時期 : 令和7年6月16日～9月30日

供用施設数 : 224施設 (公共施設 200、民間施設 24)



「ちよこ涼」施設での掲示ポスター

● 熱中症特別警戒アラート発表時の対応、 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に係る検討

「熱中症特別警戒アラート発表時の対応の基本的な考え方」を
策定するにあたり、全庁調整を実施



「ちよこ涼」の協力施設（南庁舎）

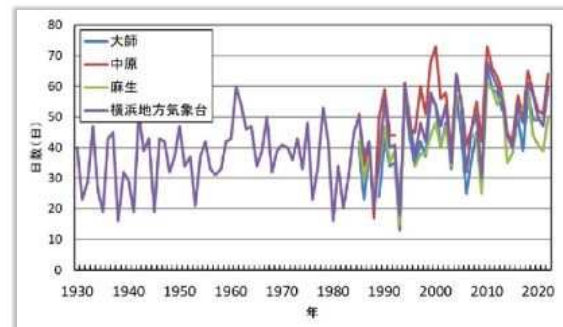


調査研究 1 気候変動等に伴う気象状況に関する調査

長期的に監視していくことが重要であることから、継続して実施予定



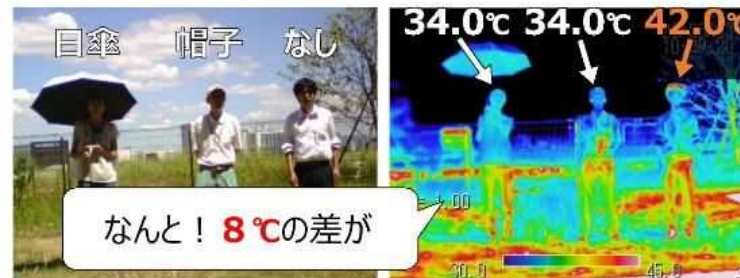
川崎市気候変動レポート



猛暑日日数の経年変化

調査研究2 暑熱対策の効果検証に関する調査

行動変容につながる取組を情報収集し、効果検証の調査を実施し、市民へ情報提供



日傘や帽子による暑熱対策効果の検証

課題- 1

市内の気候変動等に伴う影響に関する調査研究



令和7年度実施内容

調査研究 1 気候変動等に伴う気象状況に関する調査

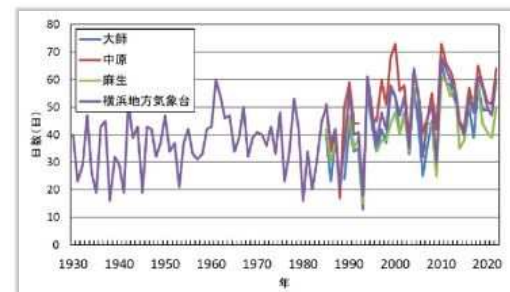
目的：気候変動等の実態把握に必要な基礎資料を作成する

■ 調査概要

2024年1月から12月までの市内の気温や降水量等の気象状況に関するデータ収集・整理

「川崎市気候変動レポート2024」としてとりまとめる

- ・庁内関係部局や事業者向けの対策検討資料に活用
- ・地球温暖化対策推進基本計画等に活用



猛暑日日数の経年変化



川崎市気候変動レポート



調査研究 1 気候変動等に伴う気象状況に関する調査

川崎市気候変動レポート2024（気温編）

概要：市の代表地点（南部・中部・北部）で気象データの経年変化を
気候変動の視点でとりまとめた

データ期間：1985年～2024年

測定地点：3地点（大師、中原、麻生）

使用データ：川崎市大気データ（一般環境大気測定局 測定データ）

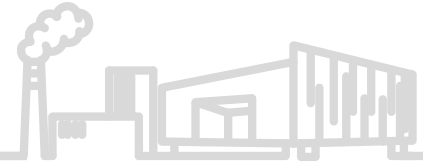


川崎の南部、中部、
北部を代表する3地点で
測定しています



課題- 1

市内の気候変動等に伴う影響に関する調査研究



令和7年度実施内容

当たり前に見える化する調査研究

調査研究2 暑熱対策の効果検証に関する調査

目的：市民等に対して熱中症予防に向けた行動変容を促す

■ 調査方法

赤外線サーモグラフィカメラ等の機器を用いて、暑熱状況や暑熱対策効果を検証し、これを可視化

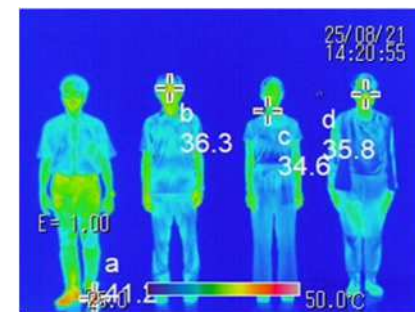
- ・夏季の外出時の「ちょこ涼」利用における身体の暑熱状況比較

熱中症予防啓発資料として、予防啓発に活用

区役所の保健師、民生委員、地域包括支援センターへ配布予定



ちょこ涼は図書館や市民館など市内224か所あります！



赤外線サーモグラフィカメラを活用した暑熱対策効果の検証